

猛暑とやまづら



小山洗足町会

堀井 潔

今年は梅雨明けが遅れ、夏休みに入ってから天候不順が続きました。さらに台風6号の接近も重なり開催が心配されましたが、台風一過ともいえる好天に恵まれ無事「ふるさとまつり」が開催となりました。

昨年に引き続き今年もやまづらを担当しました。猛暑の中、熱い鉄板の前でやまづらを焼く辛さは昨年も経験していたので、水分補給だけは皆で気を付けるよう心掛けました。今年もPTAボランティアの方々の協力には感謝しています。特に、若いお父さん方のパワーには驚かされました。やまづらが好調に売れ始め、調理が追いつかなくなると、鉄板の周りを四人で囲み、通常の倍の量の麺を



汗だくになりながら調理してくれました。まさに連携プレーでした。

昨年より開催時間が若干短くなったのですが、食材は昨年並みに購入したので少し不安もありました。しかし今年も猛暑ではありませんでしたが、たくさんの方にやまづらを買っていただき、ホッとしています。そして何より担当した皆で達成感を味わうことができたのではないかと思います。



ふるさとまつりの「わらわらまつり」

旗の台六丁目町会

川手 美代子

「くじ下さい」と開場すぐに走ってきて、箱のくじ、スーパーボールくじをひきにくてくれた子ども達のキラキラ笑顔は、当日の太陽のようでした。ふるさとまつりが子ども達の楽しみになっていくことはとても喜ばしく思い

ます。

不安定な天気予報に開催できるのかドキドキハラハラでしたが、午後には青空が広がり太陽照りつける中たくさんの方に会場に集まりました。地域総出とあって盛り上げていただき、ありがとうございます。



SNSにふるさとまつりの様子を投稿すると「息子が友達を誘って行くと言っています」と返信がありました。友達と連絡をとるきっかけになったり会場で偶然会えたり、まるでプチ同窓会のような光景がほほえましく思えました。



地域の絆が強まり、新しい「わらわら」が広がる。このようなふるさとまつりの運営にかかわれたことをうれしく思います。来年のふるさとまつりでまたお会いできますこと楽しみにしております。

『打ち水作戦』と『うちわ作り』

夏休みイベント

旗の台南町会

会長 飯田 明善



旗の台南町会では、高齢者・子育て世代・子ども達の参加を意識した夏休みイベントを種々行いました。7月上旬、私製ハガキで5つの夏休みイベントをお子様のおられるご家庭にご案内を致しました。その中から『打ち水作戦』と『うちわ作り』について実施状況を報告致します。

7月24日(水)午後3時に『打ち水作戦』実施。先ず6月上旬に荏原第二地域センターに、行事予定と幟、桶、ひしゃくの借用予約をし、商店会・白寿会・町会で協力的体制をかためました。PTAの方には個別に、シニアの方には白寿会から。町会と商店会にはポスターと回覧で案内をしました。打ち水の前日までは冷夏が続き、打ち水

をいそいそと無く心配でした。

ところが当日は一転、陽も出て暑い

日となり3時には子供達・父兄と高齢者が沢山集まりました。子供27名、父兄22名、シニア12名、商店14名、町会13名、計88名が集まり、3歳から85歳までと幅広い世代の人の参加で和気あいあいのイベントになりました。



子供と大人が12のお店に分かれ、その店先で午後3時の時報を合図に、一斉に桶とひしゃくで「打ち水」を開始。子供達は水遊びが大好き！うまく撒けて嬉しそう。大人も子供と一緒に無邪気に楽しんでいました。あっという間に涼しげな風情漂う路上になりました。年齢毎に、ソウさんジョウロ、花火、クールネックタオルを参加賞とし、スイカで余韻を楽しみました。



そして7月31日(水)午前10時から、うちわ作りを『ほづらいや』みんなのサロンで行いました。子供達や高齢者、20名が入れ代わりで参加。無地のうちわを準備し、夏の風情の絵を型紙に、カーボン紙でうちわに転写、パステルカラーで色付け。個性豊かな表面が完成。また裏面には思い思いの文面を書いて、その文面でワイワイ、ガヤガヤと賑やかでした。

